

# 領内出張所 だより

第63号

平成27年8月25日発行

TEL 77-2001

E-mail [ryonai@odaitown.jp](mailto:ryonai@odaitown.jp)



黄花コスモス・・・残暑の中に秋の始まりを感じます。花言葉は「幼い恋心」

領内盆おどり盛大に終わりました。



朝8時から、雨の中でメイン屋台を組み立て、会場の準備は整いました。

後はまつりが始まるのを待つばかりです。委員さんは、いったん解散。



開催時刻になると、次々に来場がはじまり、まつりらしい雰囲気になってきました。



まつりの開始です。

各ブースは大忙しです。やきそばの裏方に回ってみました、が皆さんスムーズに、作業をこなしています。(さすが!!)



今年も、やっぱり「おどり」が始まると次々に踊りに加わってくれました。

あいにく雨に降られましたが、昨年同様、花火に屋台におどりと、盆おどりはクライマックスへ。

今年は、豪華景品が……

景品の発表に皆さん楽しんで頂けましたか？

雨に降られながらも準備に、踊りに、ご参加ありがとうございました。



## 立秋・処暑の頃

二十四節気と七十二候 | 暦生活より

8月8日（平成27年）は立秋、秋立つ日・秋の始まり。

立秋の頃、梅雨も明け毎日暑い日が続きますが、お盆明けには秋の気配が少しずつ感じられる頃です。

「祭」といえば、日本3大祭…京都の祇園祭を思い浮かべます。

江戸時代になると祭りはすっかり庶民の娯楽として定着し、「神輿」「山車」「獅子舞」「花火大会」、また盆踊り、流行病の沈静化を願ったものなど新しい由来を持つ祭りもどんどん生まれてきました。

### ■日本の祭り

盆踊りの起源（由来）は、その昔平安時代に踊られていた「念仏踊り」から来ていると伝わっているそうです。

現在では当たり前の太鼓をたたいて踊ることが、室町時代にすでに始まっていたようです。

江戸時代になり、娯楽性が定着して、獅子舞・花火等各地域に歴史や文化となり時代に至っています。



### ■涼風至（すずかぜいたる） 初候

夏の暑い風から、秋の涼しい風に替わり始めるころ。

まぶしく輝いている太陽も陽射しを和らげ、夕方に鳴く虫たちの音色も涼しさを演出してくれます。

### ■寒蟬鳴（ひぐらしなく） 次候

夏の終わりを告げるかのように、ヒグラシが鳴いているころ。

成虫は梅雨最中の6月下旬頃から発生し他のセミより早く鳴き始める。以後は9月中旬頃までほぼ連日鳴き声を聞くことができる。

日の出前・日没後によく鳴き、終わってしまう夏を惜しんでいるかのように聞えます。

### ■蒙霧升降（ふかききりまとう） 末候

森や水辺に白く深い霧がたちこめるころ。

朝夕ひんやりとした心地よい空気の中、幻想的な風景をつくりだします。

### ■旬の物

8月、9月と言えば、日傘、風鈴、カブトムシ、ひまわり、露草……

処暑とは、厳しい暑さの峠を越した頃です。朝夕の涼しい風もこの季節ならではの。穀物が実りはじめ、虫の音が聞え始めます。

ご存知だとは思いますが……ヒグラシは、別名カナカナゼミなのです。

このセミが鳴き始めると哀愁がただよい、寂しい夕暮れ時を思い浮かべてしまいます。

そして同時に台風の季節の到来です。（今年は早かった!!!……）

もうそこまで来ています食欲の秋。

ご紹介します。

### 事故を防ぐ7つのポイント

- ・子どもから目を離さない
- ・体調が悪いときは泳がない
- ・天候が悪いときは泳がない
- ・増水時は泳がない
- ・準備体操・休息する
- ・危険な場所では泳がない
- ・1人では泳がない

奥伊勢消防署 宮川出張所の活動取材しました。

夏休み、川での水難防止を呼びかけました。  
お盆休み、清流宮川に涼を求めて、今年もたくさん  
の人たちがお昼を食べたり、川に入ったりして楽しんで  
いる所に伺いました。

特に子どもさんがいる方に、目を離さないように、  
一人ひとりに水難防止を呼びかけました。



疲れたら、休憩を取りながら川遊  
びを楽しんでください。

皆さんで水の事故に注意して  
ください



川の流れに十  
分注意してく  
ださい。



夏休みの楽しい思い出、事故の  
ない川遊びを楽しんでくださ  
い。

清流宮川に涼を求めて、今年も沢山の方  
が水辺で遊んでいました。

全国では水難事故のニュースなど目に  
します。一人ひとりが注意し楽しんで頂  
くよう声を掛けました。



流れの速そうなところがあり  
ます、お子様から目を離さない  
で下さい。

## 夏は細菌による食中毒が増える時期です。

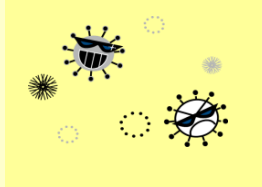
夏場（6月～9月）は、細菌が原因で食中毒が多く発生しています

原因…高温多湿な環境と抵抗力の低下

6月頃から食中毒が発生し始めます。8月9月頃になると私達の体も、夏バテや大量摂取した水で胃酸が薄まっていたりすると、十分胃で殺菌されず食中毒になってしまう事もあります。

### 予防対策

- ☆基本はやっぱり手洗い
- ☆調理器具の殺菌
- ☆冷蔵庫で保存
- ☆十分に加熱
- ☆家族に移さないように



### 食品をより安全にする 5つのカギ

- ☆清潔に保つ
- ☆生の食品の取り扱いに注意
- ☆よく加熱する
- ☆安全な温度に保つ（冷所保管）
- ☆安全な水・新鮮な材料を使う

下痢や嘔吐の時、体内から急に水分が失われた場合、水分補給は真水よりも口徑保水液がオススメです。

自宅で作れる経口保水液…水：500mL（一度沸騰し冷ましたものが理想）

食塩：小さじ1/2杯、砂糖：小さじ3杯をペットボトルに入れて混ぜるだけ。



### 「絵手紙教室」

お友達や、家族への手紙に絵という思いを添えて届けてみませんか？

毎月1回絵手紙愛好家が集り教室を開催します。

始めての方もぜひご参加ください。道具がない方は、お貸しできます。

日時 9月1日（火）第1火曜  
午後1時30分～3時まで

場所 領内地域総合センター  
電話 77-2001

8月4日の作品です。

お誕生日カードとしてお届けいたします。

あどがき

秋の便りが届くころです。

残暑はまだ当分続くの？

稲の穂が色付き始めまし

た。カナカナセミンが元気いっば

い、夏を惜しんでいます。

新米が収穫されるころ、う

れしい食欲の秋、近くの田ん

ぼの稲の穂は、重そうに風に

揺れています。

今年の夏、「暑いですね。」

があいさつ代わりでしたね。

日中はまだまだ残暑が続き

ますが、朝夕の爽やかさが増

してきたので、「ほっ」とい

ます。

領内盆おどりも終わり、

「ほっ」と一息です。大勢のい

参加ありがとうございました。

夏の思い出。

たのしかった？

（木下）

